

情報公開文書

研究の名称	膵管空腸吻合術後の良性吻合部狭窄に対する内視鏡治療の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年4月1日から2023年2月28日までの期間に膵管空腸吻合術後の良性胆管狭窄に対して内視鏡治療を施行した患者様を対象としています。</p> <p>【研究の目的・意義】 近年、小腸検査のために開発されたダブルバルーン内視鏡を用いて、術後の膵臓胆道領域へのアクセスが可能となりました。術後再建腸管における胆道処置は普及しつつある一方で、ダブルバルーン内視鏡における膵管へのERPの報告は数少ないです。今回、我々は膵管空腸吻合部狭窄におけるダブルバルーン内視鏡を用いた内視鏡治療の実行可能性、有用性、安全性に関し後方視的に検討することとしました。</p> <p>【研究の方法】 本研究は2018年4月1日から2023年2月28日までの期間に膵管空腸吻合術後の良性胆管狭窄に対して内視鏡治療を施行した患者様を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対応表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータ(処置時間、血清アミラーゼ値等)はカルテ上に存在する検査画像や血液検査等を使用します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学大学院医薬学研究部 内科学第三において診療情報が解析されます。施設責任者は富山大学付属病院長 林篤志です。
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	管理責任者は安田一朗です。
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail hkawa82@med.u-toyama.ac.jp</p>

	担当者所属・氏名 富山大学附属病院 糸魚川地域医療支援学講座 客員助教 川中滉貴
--	---------------------------------------------